



フォロー・レクチャー3

**続かない人の英語力がどんどんカーブしていく！
『最も簡単にできる最強の英語習得ステップ』**

藤永：ども、藤永です。

植草：こんにちは、植草です。

藤永：今回は最後の動画になります。サクッとわかりやすく簡潔に、

植草：そうですね、英語しゃべりたいですもんね。

藤永：しゃべりたいですよ、皆さん！

で、前回お伝えしました、
「●●ステップだ」というふうにお伝えしたんですが…、

簡単です。正しいステップということです…。

植草：たぶん、いまお客さん結構怒っていると思いますよ（笑）

藤永：怒っていますよね。あのね、ふざけてはないですよ！

ただ、一番大事なのは、
ほんとに言語習得の流れに沿ったステップということですね。

植草：そういうことですね。

例えば、皆さんでわからない人もいると思うんですよ、
結局、リスニングから始めた方がいいという人もいるし、
発音から始めた方がいいという人もいるし、
単語から勉強した方がいいという人もいるし…、

わからないですよね？

藤永：実は、やっぱりリスニングなんですね。

植草：これは、もう揺るがない？

藤永：揺るがないです。

これ絶対に外せないです。これでいきなりね、
もし、単語を覚えなさいという英語業界の人がいたら、それは詐欺です。

植草：おお、結構言いましたね。

藤永：もう、言います。絶対にそんなことはあり得ないです。

植草：なるほど。

藤永：断言します。

なぜかという、やっぱり言葉を覚えるときというのは、
必ず、耳からなんですね。
必ず、耳から来て最後に書くというステップがあるんですよ。

植草：はい。

藤永：まず、聞く。そして、話して体験する。で、実践する。
そして、最後に書くという…

で、ほんとの一番最後にスペルというのがあるんですけど、
正しくスペルを書くというのがあるんですけど、

実は日本の英語教育というのは
みんなスペルを書いた覚えはないですか、皆さん？単語帳で。

植草：あります。めちゃくちゃ書きました。

藤永：で、スペルのテストってあるんですよね。それ中1の時にやるんですよ。

植草：ありました、ありました。

藤永：一番最後のステップなのに、
それをやらされていたということなんですね。

植草：じゃあ、逆転しちゃったんですか？

藤永：逆転したというか、もともと正しい方向が聞くことなのに、
先生方が採点しやすいじゃないですか？

植草：というか、日本の先生って英語、しゃべれないですよ？

藤永：しゃべれないです（笑）

植草：多分、中学の時の先生とか高校の時の先生とか
しゃべれないだろうみたいな（笑）

藤永：しゃべれない。

でね、実はこのマイスキ英語に登録されている方も
学校の先生とかもいらっしゃるんですよ。

植草：へえ～。

藤永：あのね、しゃべれないといけなくなってきたんですよ。

植草：もう、必要性にやっぱ。文法だけではダメだと。

藤永：そうです。

それで皆さんが何をやるかというと、
いきなり英会話学校とかに行き始めるんですね。

植草：まあ、僕なんか東京に住んでいるからあれですけど、
やっぱ日本だと、電車の中から駅からすごいですもんね、英会話の広告が。

藤永：すごいですよね、英会話スクールのね。
ただ、やっぱり、煽って煽ってるんですけど、
結局その長続きしないんですよ。

植草：たしかに。

藤永：この動画をご覧の方もおそらく英会話スクールに通われた方が
いらっしゃると思うんですけど、

植草：皆さん結構、英会話スクールに行かれています？

藤永：行かれています。

植草：モチベーション高い方々なんですね。

藤永：そうです、そうです。

植草：素晴らしいですね。

藤永：ただ…、続かないということです。

で、やっぱり実感が湧かない。前回の動画でもあったんですが、
上達の実感が湧かなくて、それで挫折するという方が多いんで。

じゃあ、どういうことをやっていくかというのと、
必ず、まずリスニングなんですけど、最初から最後までを聞くという
癖づけというのがものすごく大事になってくるんですね。

植草：最初から最後まで聞くんですか？

藤永：はい。

日本人はどうしても知ってる単語、知らない単語で
耳が止まってしまうんですね。

そこですぐに和訳をしまおうとか。
で、頭の中で文字が浮かんでくるということがあるんですよ。

そうではなくて、皆さんがこの英語を、まあ日本語を話している時って、
おそらく文字は一切出てこないと思うんですよ。

植草：出てないですね。

藤永：知らない言葉が出てきたとしても最後まで必ず聞いているはずなんですね。
それでより多くの情報を吸収して理解していくということ。
それと、あとイメージをしていくということですね。

植草：イメージが重要というのは、これはビジネスの世界でも同じですね。

藤永：同じなんですね。

例えば、グアムと言った時に、
グアムのこのイメージが必ずこう出てくると思うんですよ。

なんかパンフレットでも何でもいいんですよ、
自分が過去に見た、行った場所だったりとか。
なのに、いきなり英語になると、それを文字にしてしまうんです。

植草：Guam みたいな？

藤永：そうそう、Guam～みたいになるんですね。

そうではなくて、しっかりとイメージするということが
ものすごく大切になってくると。

植草：なるほど。

藤永：で、最初から最後まで聞くことが重要なんだということですね。

それが出来て、やっとアウトプットということですよ。
話すということにいけるということなんです。
赤ちゃんがそうですよね、まさしく。

植草：はい。

藤永：ず～っと、親の言うこと、大人の言うことを聞いて、そしてしゃべり始める。
それでやっとちゃんとした言葉がしゃべれるようになってくるとのこと。
で、それで体験をしていくことなんですね。

植草：じゃあ、例えば、最近だと動画配信サイトみたいな
英語の洋画とかあるじゃないですか？

あれは結構役に立つんですか？
それともあれだとちょっと難しすぎてどうなんですかね？

藤永：そうですね、あまりにも長すぎるというのがあります。
あと、非現実的だということがあります。
何が一番大事なのかというと、日常的な言葉に触れること。
やっぱ身近に感じますよね。

植草：そうですね。

藤永：例えば、SF を観たりとか自分が好きなボクシング、ロッキーを観たりといっ
ても、非現実的であんまり使わない言葉というのがものすごく、
アクションとか多いんですね。

植草：なるほどですね。

そういう意味でいうと、僕なんか海外とかに行ってかなり日常的というか、それを使わないと物事が先に進まない話が出てきてるんで、

藤永：だから常に使いそうな、日常的な英語に触れるということがものすごく大切なので、動画サイトもただ観ればいいやというわけではなく、できれば日常会話に近いものがベストですね。

植草：なるほど。

でも、そういうふうにおっしゃっていただいて、ふっと思ったのは、実は僕、昔中国で仕事していたんですよ。

で、英語じゃなく中国語なんですね。中国語が全然わからないときに、でも中国にいるから、ちょっと上海とかああいう最先端のエリートビジネスマンは英語しゃべれるんですけど、そうじゃない人ってわかんないですよ。

そうなったときに何に困ったかというところ、
「トイレどこですか？」と「おすすめては何ですか？」が出てこなくてすごい苦労したんです。
「トイレどこですか？」が聞けなくて膀胱炎になりそうとか（笑）

ご飯なんですけど、中国語で書いてあって、何食ったらいいかわからないじゃないですか、だから何か選んでほしいんですけど、どれも中国語表記でわかんなくて…

藤永：はいはいはい。

だから、結局日常的なものにまず触れるということが大事ですよ。

植草：そこですよ。

藤永：やはり、先ほども言いましたが赤ちゃんの耳、これとやっぱりイメージをするという両方、これオーバーラップしたところですね。
というのが実は非常に大事です。

赤ちゃんの純粋な耳とイメージをするっていう大人のイメージ。
耳は赤ちゃん、イメージは大人というのが重なり合ったところですね。

ここがものすごく重要なステップ。
習得すべきステップになってくるんですね。

植草：赤ちゃんの耳だけだと、簡単に言うと、
右から左みたいによくわからないということですよ？

藤永：そうです。

植草：それだと、理解するまでに何年もかかってしまう、

藤永：そうです。そこをやっぱりイメージするってことは、もうすでに私たちは日本語で出来ることなので、それをすぐに赤ちゃん耳に重ねてあげるという感覚ですね。

植草：なるほどですね。それをするだけで音に対して、映像が乗ってくると。

藤永：そうです、文字化されないということです。

それをやることでやっぱりネイティブの感覚ですね、そういうふうに聞くとというのが実はネイティブが聞いているような感覚になってくるので。

植草：そういう意味でいうと、ビジネス的なモチベーションを維持するときの話だと、ほんとにイメージの臨場感の豊かさというんですけど、より鮮明にイメージ。

例えば、この画像も鮮明じゃないですか、青い空。多分、これ空気をイメージして下さいと言ったら、結構皆さんイメージできるんですよ。

この下がっている心臓の感覚をイメージして下さいとか風をイメージして下さいとか。これ臨場感というんですけども、それをやっぱり鮮明にすると、夢が叶ったりとかより自分の中で体感値的に深く潜在意識まで入ってくるというのがあるんですが、まったく同じということですね。

藤永：そうです。

イメージするって英語でも絶対欠かせないプロセスなんですね。これ、やっぱりステップです。

しっかりと最初から最後まで聞くという耳を持つということ。あとイメージを持つということ。それをやってリスニングというのを完結させるということですね。

植草：なるほど。

藤永：ネイティブの耳に持っていくということになります。このステップがないと、いくらやってもリスニングが上達しないんですよ。

植草：ということは、前回の第2話でお話いただいたステップをこういうふうにビョンビョンビョンと組んでいくという最初のステップは聞きましょうということですね。しかも、日常会話を聞きましょう。

藤永：そうです。

植草：例えば、よくあるじゃないですか？
速い音を聞くとか逆にものすごくゆっくり、スローリーに…

藤永：ではなくてですね、
やっぱり英語独特のリズムというのがあるんですよ。

英語ってこういうリズムがあるんですよね。
そうやって実は皆さんリスニングをネイティブの人達もしています。

このリズムがば〜っと日本人が話すような英語だと
逆に聞き取りづらいんですね。

植草：なるほど。

藤永：じゃなくて、こういうリズム。
これを掴むのもものすごく大切なんですね。

植草：じゃあ、やっぱりナチュラルなスピードの音を聞かないと
意味がないということですね？

藤永：意味ないです。

倍速にしてしまったら早口言葉ですよ。そんなので僕らは日本語を習得して
ないはずですよ。ちゃんとしたリズム、大人がしゃべるリズムを聞きながら習
得したはずなので。

植草：じゃあ、それをまず最初のステップに置くこと。
それを何分にしましょう？5分やればいいですか？3分？

藤永：いやいや、5分で結構ですね。もう十分です。
その流れで出来るのが、実はマスク・リスニングだと。

植草：あ、藤永さんがやられているやつですね？

藤永：そうです、そうです。

まあ、いやらしい話なんですけど、
ただ、やっぱりちゃんとしたステップで皆さんにやってほしいんです。
ただ、その思いだけです。

もうねえ、無駄な時間を費やしてほしくないです。

先ほど言った、実感が湧かないこの期間というのを正しいステップでやって
いけば、必ずこう来ます。

それを無駄なステップでやっているから、
ず〜っと平らなままで終わっちゃうんですよ。

植草：これは別に藤永さんの商品が売れてほしいから言うわけじゃないですけど、
すぐに浮気する人いるじゃないですか？

ビジネスの世界でも一緒なんです。この人が儲かっているというあの人の
所に行こう、この人が儲かっているところへ行こうと。
こういう人は結果出ないんですね。

藤永：出ないですね。

植草：もうこの人を信じようって。

まず、信じようと思うことが重要なんですけれども、信じようと思ったら、
もう結果出るまでその人のノウハウをきっちりやらないと浮気する人は結果
出ないです。

藤永：そうですね。

僕が心がけているのは、よくある他の教材とかであるのが、
サポートセンターに連絡下さいとかあるんですが、
結局それって、オペレーターが対応しているだけなんですね。

私が言いたいのは、ノウハウというか使い方に関しては、
私が直接これはサポートさせていただいています。

植草：それ、超重要ですよ。

藤永：めちゃくちゃ重要だと思います。

僕もね、やっぱり英語習得するときって一人ぼっちだったんですよ。
で、何が正しいかわからないということがあったんですが、
誰かね、英語が得意な方とか指導してくれる方がいたら
こんなに助かったことはないとほんとに思っているんですね。

植草：これはすごいですね。

何がすごかって、僕ここだけで言いたいんですけど、
コンサルティングとかコーチングとか、僕はこういう世界にいるんですけど、
よく凄い人がいると弟子とか作って広げる、組織にしていくなんですね。

でもね、これだとダメだと思うんですよ。

何でダメかという、細かなところまでこの人達って習得できないんです。
結局、この凄い人だからその細かな所に気づいてこうだなんてのがわかる、

マッサージ機とかも全部そうですね。

すごい神みたいなのもいるわけですよ、ちょっとピョンピョンとやるだけで治っちゃうみたいな。ウソだと思うかもしれませんがほんとにいるんですよ。でも、例えばそれを弟子がいくらやったとしても師匠に勝てないんですよ。

藤永：やっぱ、そうですね。

植草：だから、僕はあんまりそういう組織だったコンサルティングというのは、僕自身しないんですけど、

藤永：僕が心掛けてるのはやっぱそこなんですよ。

結局、それでも挫折しそうな方がいると思います。そこをストップできるのは僕だと自負しています。僕しか出来ないと思います。

なぜかという、僕がやっぱり英語で苦労したからです。僕しかわからないこと、皆さんの悩みとかが手に取るようにわかるんです。

植草：なるほど。

藤永：何が苦しいのとか、なぜ記憶できないのか、なぜ話せないのかが、もう手に取るようにわかります。

植草：なんか今日、すごいですね？

いつもは英語楽しみましょう！大丈夫です！
ですが今日は熱い感じですね。

藤永：ちょっと話し始めるとね（笑）

でも、苦労する方の気持ちがほんとにわかるんです。
だから、頼っていいんですよ。

植草：超重要ですね。

藤永：そう。なので英語で悩んでいる方は、
是非、僕の胸に飛び込んで来てほしいなという気持ちです。

植草：マスク・リスニングって…

ごめんなさい、僕さっき話飛ばしちゃったんですけど、
ちなみにどういうステップですか？

藤永：あっ、まずですね、イメージをさせることに重点を置きます。

まず聞いてイメージをさせる、イメージの感覚ってどうなんだろうと。

植草：じゃあ、音が流れて、何かをイメージ？

藤永：そうそう、和訳もちよっと出すんですね。

で、大人がやるステップなので、もう和訳を聞くだけで、
実はイメージってしやすいですよ、
英語に対しての和訳、そしてイメージ。

植草：この画像なら「空を飛んでいます」みたいな？

藤永：そうです。

Flying って言ったら、飛んでいるという感じのイメージが出てくるとか…、
そういうのをやっています。

植草：なるほど。

藤永：で、その後に実はマスク・リスニングの真髄なんですけど、
最初から最後まで聞くことが大事だというふうにお伝えしたと思います。

で、知ってる単語が出てきてしまうと
どうしても耳が止まってしまうんですよ。

どうしても止まってしまうんです。
これは止めるなど言っても止まってしまうんです。

じゃあ、それを防ぐために何をやったかというのと、
英語にマスクングという特殊技術を入れて、ぼんやりと英語の独特のリズム
を残しながら最初から最後まで聞くということをやっています。

植草：ハ～ハアハ～ハ～みたいな感じ？

藤永：そうです。
もうちょっとなんか…カッコいいですよ（笑）

植草：笑、ごめんなさい。

藤永：ただ、英語のリズムを残しながらやっているの
最初から最後まで英語のリズムを感じながら聞くという癖を
ここでつけてもらっています。

そして、最後のステップに、最初から最後まで英文です。

これは日常的に使う英文というのを最初から最後までマスキングを取った形で流しています。これがまたはっきりと聞こえますから。

植草：クリアなんですね。

藤永：Very Clear です。

植草：すごい。

藤永：そのマスキングを取ってあげて、要するに最初から最後まで聞くということ、あとイメージをしているということで文字化されずにイメージをしながら最初から最後まで聞く。

それこそ、字幕なしで映画を観ている感覚なんですよ。

植草：癖づく感じなんですか？頭の中に？

藤永：癖づきます。

皆さん多いと思うんです、字幕なしで映画を観たいという方。その感覚に近いものだと思ってください。

それを1日5分程度で全然構わないので継続してもらえると、必ずイメージをしながら最初から最後まで聞くというネイティブ本来のリスニングが出来るということですね。

植草：なるほどですね。

藤永：必ずステップ、これが必要だと。
僕がいつも言っているのが、意識的ヒアリングと言っているんですね。
ただ聞き流すだけでは無理です。

植草：聞けるようにならない。

藤永：絶対ならないです。

意識して、日本人の弱点はイメージが出来ないことだ、最初から最後まで聞けないことだという意識を持って聞くということですね。そうすることで、意識が最後には無意識に変わっていくと。

意識的にやらないと無意識にはならないです。

植草：そうですね、ならないですね。

藤永：なので、そこを意識しながら聞く。最後に無意識になる。

ちゃんとしたステップでというのがマスク・リスニングということですね。自分の夢に近づける、目標に近づけることが出来る一つのツールだと思ってください。

植草：じゃあ、今日5分聞いたら、明日は7分30秒聞けばいいわけですね？

藤永：そうです、ドミノの話ですね。

ただ、しんどいなと思ったら、まあ5分続けてもそれは構わないです。

植草：はい。そういう感じで聞くと、いつの間にかね、

藤永：そうです。

ここでまだ上達していないんじゃないかという時に、アクションの設定というのもしやしました。

目標の再設定。そこでじゃあ、海外旅行に行ってみたときに「聞けた！」「うわ、話せるじゃない！」…

植草：その感覚、わかりますよ。

僕もある日聞けるようになって、ある日1人で海外って全然余裕だという感じになったんですね。

藤永：そこが必ず出来るように。

できればマスク・リスニングやっていただきたいんですが、アクションの設定というのもしやしてやってほしいなと思います。全然違います。

植草：やっぱり、やらなきゃダメですよ？

藤永：そうなんですよ。

で、前回あれなんですよ。これからマスク・リスニングを始めたいという方、前回も実はマスク・リスニングは告知していたんですけど、それでも前回はいいやという方もいらっしやったので、今回は特別にもう一度試して見たいなという方に、

植草：特別な？

藤永：特別に設定させていただきました。
あの、そこにカンペがあるんですが（笑）

植草：はは、ありますね（笑）

藤永：これからですね、3日間。

3日間限定なんですけど、この動画を見た翌日の夜9時から3日間限定でもう一度販売させていただきたいと思います。

というのが前回ですね、お昼の12時に販売させていただいて仕事があって見れなかったとという方もいらっしゃるんですけど、なので、今回は夜の9時です。9時からスタートになっています。

植草：いいですね。

まあ、夜9時だと仕事から帰ってきて、ご飯食べて、お風呂入って…

藤永：そうなんですよ、ちょっとゆっくりして見てほしいなという感じです。

植草：いいですね。

藤永：ただ、やっぱりマスク・リスニングがね、お値段が1万円以上もしてしまうんですけど、ただ、それでも今回も相当割引しています。

植草：でも、1万とか2万とかそういう…

藤永：そうです。

植草：だって、英語ってあれですけど、そういう英会話とか申し込んだら、20万とか30万とか、

藤永：何十万もするんですよ、全然します。

植草：僕の知り合いの人とか100万以上使っていましたよ（笑）

藤永：あのね、英会話で100万以上使った方ってめちゃくちゃいらっしゃるんですよ。

植草：というか動画見ている方も、

藤永：いや、いらっしゃると思いますよ。

植草：ですよ？いや、僕なんかすごい「マスク・リスニングです、50万円です」（笑）

藤永：それは絶対ないです（笑）

そんなぼったくりはしないです。ただ、制作費はかかっています、

やっぱり。マスクング音声というのがものすごくお金かかったんですね。

植草：特殊なんですかもんね？

藤永：特殊です。どこにもないです。

ただね、それでも高いなという方のために、
マイスキ英語。マイスキっていう月額 500 円というのが
既に PDF とか最初に見られた方も多かったと思うんですが、

植草：この画像の PDF ですね？

藤永：そう、これです。ただ、30 日間無料なんです、それでも。

植草：安っ…、安っというカタダ？

藤永：いやいや、タダですから。

それでまず試していただければ。
その中に実は最初の 3 単語だったりとか、聞くコツとか
そういうのも入っているの。文法についてもあります。

ただ、それをまとめた形というか、
そんなことを個別にやらなくていいですよというのが、
実はマスク・リスニングなんです。

植草：最初の 3 単語って、皆さん知っています？

藤永：これね、（過去の）最初の動画で実は言ってて、
最初の 3 単語を聞けば、最初に英語は重要な情報があるんですよ
ということですね。主語、動詞だったりとか。

植草：僕ね、最初の 3 単語っていう情報だけを持って、
最初海外に行きましたからね、1 人で

藤永：結構、聞けるんじゃないですか？

植草：もうね、日常で死なないレベルです（笑）
死なないレベルにコミュニケーションは取れます。

藤永：最初の 3 単語は大事なんですが、
最初から最後まで聞かないとというのがマスク・リスニングなんです。

だから、すべてまとめたもの。文法とかでもなくて、
やっぱりイメージがものすごく大事なんだよというのが
マスク・リスニングなので、まあ 500 円のものでもいいんですが、

まとまったものがマスク・リスニングだと思っていただければと思います。

植草：じゃあ、僕もやります。

藤永：是非、やってほしいと思います。

ちょっと長くなっちゃいましたが、さくっと終わると言って、
20分位経っちゃいましたからね。

植草：はは（笑）

藤永：ということで、また明日の夜9時ですね。
楽しみにしてもらえればと思います。

植草：そうですね。

藤永：はい。

じゃあ、またいつの機会かにお会いできることを楽しみにしております。
それじゃ、また次回お会いしましょう！
ありがとうございました。

いよいよ、次回！！

【3日間のみ】次回、特別プログラムを限定公開!!

もう一度、最高の英語生活をスタートしていただくために、
あの人気プログラム『マスク・リスニング』を3日間限定で特別案内します！

お楽しみに！！

※ただし、3日間で過ぎてしまうと、
最後の特別案内はシステム上自動で終了します。ご了承ください。

【藤永丈司プロフィール】

何の対策もせずに初受験でTOEIC990(満点)、英検1級取得。小学校英語指導者資格、ニンテンドー3DSソフト「TOEICテスト超速トレーニング」スペシャルアドバイザー、芸能人への個別指導、英会話・TOEIC講座、企業研修、他多数。

自身の受験英語への疑問や登校拒否といった苦い体験から、文法や暗記などといった従来の学習を180度違う角度から切りこみ、短期間で「英語回路」を身につけるメカニズムを発見。10年以上にわたる海外生活から、外国人の英語習得の早さと相対する日本人の遅さの違いを同時に徹底的に解説・研究を繰り返すことで、日本人へ「英語回路」を植付ける仕組みを解明。

日本人には日本人独自の習得方法があることを見出し、母国語を自然に覚えるメカニズムに独自言語習得法と本来人間が持っている爆発的な潜在能力を融合する事でその効果を確実なものとしている。

主な著書にベストセラーシリーズ累計10万部『「超速」英語プログラム』『なぜ、留学生の99%は英語ができないのか?』他多数。現在、2020年までに5,000人のネイティブスピーカーを輩出し、英語を使って、世界で活躍できる日本人を後押しするビジョンに向けて、初心者も短期間でネイティブにする最短ステップをプログラム化し、多くの日本人に伝導している。